

災害警備訓練の実施

～川西警察署と合同で救助用ゴムボート訓練を実施～

6月4日、川西市内のダム湖において、風水害を想定し、尼崎南警察署・川西警察署の2警察署合同で、救助用ゴムボートを用いた救出救助訓練を行いました。

訓練では、救助のための操船技術や要救助者のボートへの引き上げ要領などを確認し、災害対処能力の向上を図りました。



尼崎市は、市域の3分の1が海拔0メートル地帯であり、防潮堤など様々な対策がとられていますが、今後、発生が予想される南海トラフ地震では、それら防災施設が適切に機能しなかった場合、最高津波水位4メートルの津波が押し寄せ、津波による死者数は最大8,000人を超えるとの想定もなされています。

また、近年、全国的に豪雨災害等も発生しています。出水期を迎える中、気象情報に関心を持ち、洪水や浸水など水害に注意しましょう。